



審判副委員長



## 戦評用紙

種別 **バレーボール (知的)** 会場 **トリムパークかなづ**

平成 **30** 年 **10** 月 **14** 日 日曜日 第 **2** 日目

**A** コート 第 **9** 試合

1回戦(第 試合)  準決勝(第 試合)  3位決定戦  決勝戦  交流戦(第 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	<b>25</b> — <b>17</b> <b>21</b> — <b>25</b> <b>25</b> — <b>12</b>	<b>1</b> <b>兵庫県</b> <small>都道府県、指定都市名</small>
<b>東京都</b> <b>2</b>		
<small>都道府県、指定都市名</small>		

### 【審判員】

主審：  涖  孝介   副審：  長永  正憲    
 記録員：  太田  亜矢美   A・S：  平澤  明義   A・S：  中川  皓輔  

### 【戦評】

記載者：  井上  義宣  

第1セットの序盤は両チーム、アタックの打ち合いで始まり徐々に東京都がブロックやサーブでリードを広げると、中盤東京都の1番松本のサーブや11番渡邊のセンター攻撃で主導権を握る。兵庫県は終盤粘るものの東京都が25対17で先取する。

第2セットの序盤はお互いサーブミスがあったものの、兵庫県のアタックが決まり始める。東京都は中盤に4番上原のアタック、11番渡邊のサーブで巻き返しを図るも兵庫県が終盤10番奥、8番北山のアタックで25対21で取り返す。

第3セット東京都が序盤をアタックやサーブで流れを掴むと終盤まで東京都ペース進み、最後は東京都の9番兼平のアタックが決まり25対12で東京都が優勝する。